

技術文書作成

第8回

掛下 哲郎
kake@is.saga-u.ac.jp

1

第8回の内容

- 主題文と目標規定文
- ロジックツリー
 - 直列型と並列型
- MECE
- 演習

6

文章の基本

- 短時間で簡潔な文章を書く
- 自分の考えを伝えるために書く
- 目的をはっきりさせる
- 主題を整理する
- 相手を意識して、伝わりやすいように書く

7

論理的に書くことの大切さ

- 論理的に書かれた文章は
 - 読みやすい
 - 理解しやすい
 - 説得力がある
- 論理的でない文章が同意されるのは、もともと意見が同じ人からだけ
- 意見の異なる人を説得できるのは、論理的な文章だけ

8

論理的な表現とは？

- 何が主張したいのか、はっきり分かるように書く。
- 主張と根拠を必ず含む。
 - 主張は意見。基礎となる根拠は事実。
- 根拠をはっきり書く。
- 余分なことを書かない。
- 前提条件や制約事項は最初に示す。
- 文学的表現(例:起承転結)は使わない。

9

目標規定文と主題文

- 目標規定文
 - 文章全体の主張を表現した文
 - 論理的な文章には必ず1つの目標規定文が含まれる。
- 主題文:トピックセンテンス
 - 1つの段落の中心となる事項や内容を表現した文
 - 論理的な段落には必ず1つの主題文が含まれる。

10

事実と意見

- 事実とは
 - 自然現象, 自然法則, 事件等の記述で, 然るべきテストや調査によって真偽を客観的に判断できるもの
- 意見とは
 - 推論, 判断, 仮説など
- 文書作成における心得
 - 事実と意見を明確に区別する.
 - 事実の記述に意見を混入させない.
 - 事実の裏付けのない意見を記述しない.

11

段落構成の基本

- 主題文は段落の冒頭に置く。
- 主題を先に説明してから、詳細に進む。
- 読み手の疑問に答える。
- 読み手が理解しやすい順序で説明する。
 - 時系列に沿った説明順序
 - 空間の合理的な流れに沿った説明順序
 - 最初に意見や意図を述べる。次に理由を書く。
 - 最初に結果を書く。次に原因を書く。

12

MECE(ミッシー)

Mutually Exclusive and Collectively Exhaustive

相互に排他的かつ全体として包括的

- 複数の根拠を列挙する際の基本方針
根拠はMECEの関係になければならない。
- 詳細に関する場合分けを行なう際の基本方針

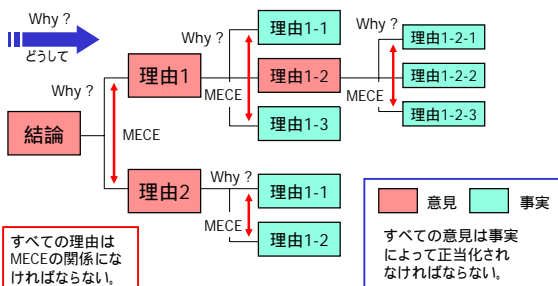
13

ロジックツリー

- 主張と根拠(または主張の詳細)を対応付けた木
- 直列型の論理
 - 事実の指摘
 - 評価基準の提示
 - 評価基準に基づいて事実を評価し、結論を導く。
- 並列型の論理
 - 根拠1、根拠nの提示
 - 結論として主張を導く。

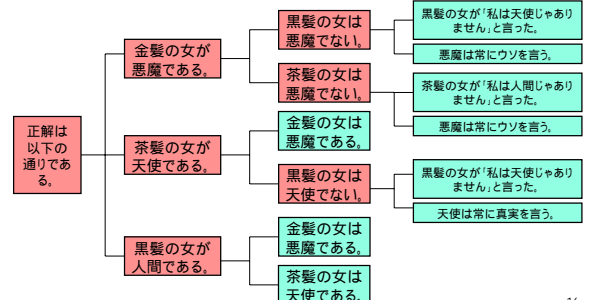
14

ロジックツリーの構成



15

ロジックツリーの例(予習課題1)



16



演習課題

- 予習課題2のロジックツリーを作成せよ。
- 個人情報保護法案の趣旨説明を読み、以下を行なえ。
 - 重文や複文を複数の単文に分割せよ。
 - 目標規定文(単文)を指摘せよ。
 - 各段落の主題文(単文)を指摘せよ。
 - ロジックツリーを作成せよ。ロジックツリーの各ノードは単文とすること。

17



演習課題の提出

- 提出期限: 11月21日(金) 18:00
- 提出場所: 学科事務室横のレポートボックス(No. 1)
- 学術情報処理センターの大中小演習室のいずれかに設置されているプリンタで印刷すること。

18